# 神通川水系茗ヶ原川　洪水浸水想定区域図
# （想定最大規模）

1　説明文

(1)　この図は、神通川水系茗ヶ原川の県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2)　この洪水浸水想定区域は、指定時点の河道の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)　なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する他河川の氾濫、堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫、河川の氾濫と同時に発生する可能性のある土砂・流木等の影響等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

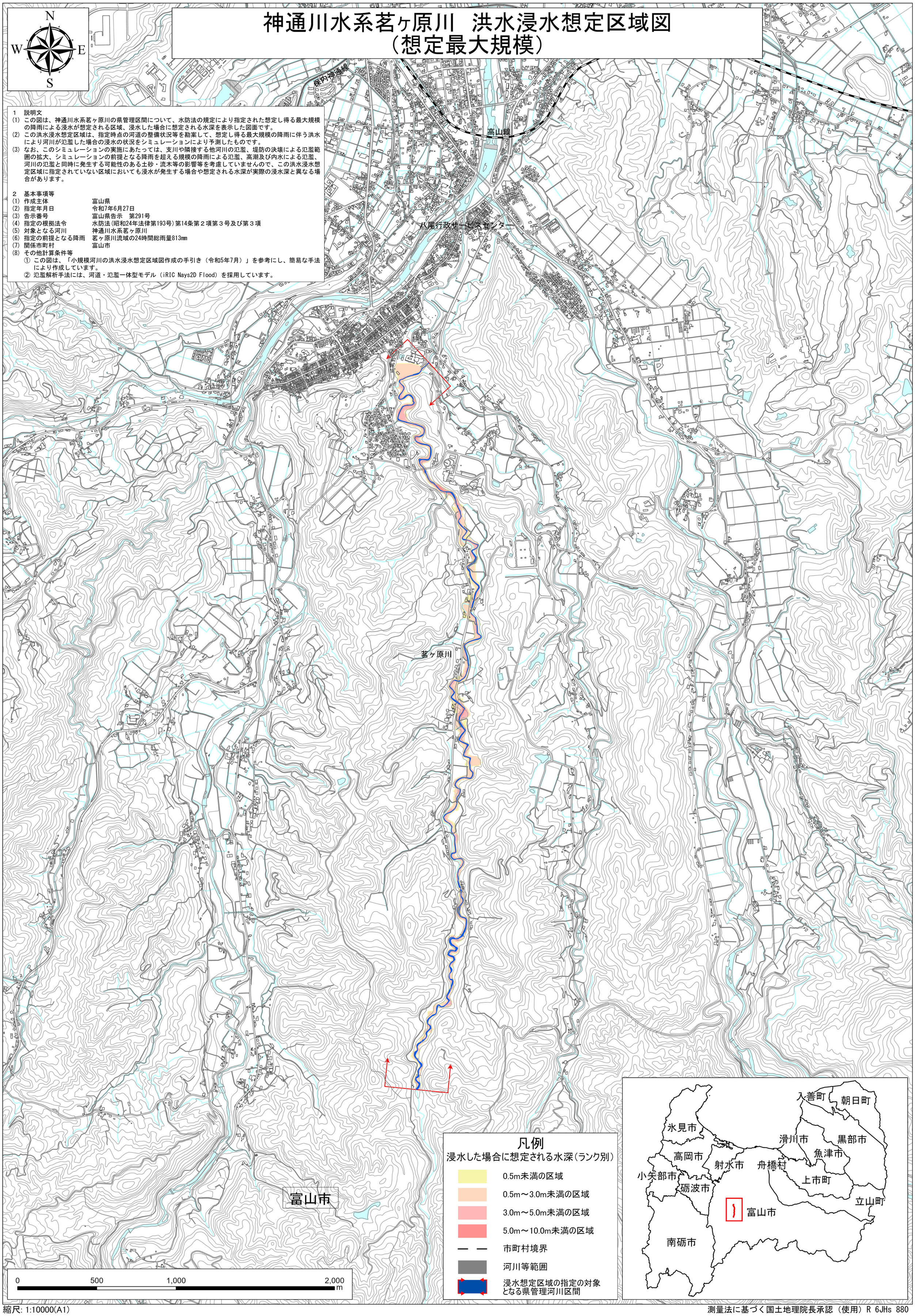
2　基本事項等

| | | |
|---|---|---|
| (1) | 作成主体 | 富山県 |
| (2) | 指定年月日 | 令和7年6月27日 |
| (3) | 告示番号 | 富山県告示　第291号 |
| (4) | 指定の根拠法令 | 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第２項第３号及び第３項 |
| (5) | 対象となる河川 | 神通川水系茗ヶ原川 |
| (6) | 指定の前提となる降雨 | 茗ヶ原川流域の24時間総雨量813mm |
| (7) | 関係市町村 | 富山市 |

(8)　その他計算条件等

①　この図は、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き（令和5年7月）」を参考にし、簡易な手法により作成しています。

②　氾濫解析手法には、河道・氾濫一体型モデル（iRIC Nays2D Flood）を採用しています。




縮尺: 1:10000(A1)

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHs 880